

＜提案者＞所属 蓮花寺町内会 氏名 区長:井上 勉

1. 事業計画書

事業名	「蓮花寺の大スギ二世」育成事業
事業目的 事業内容	<p>【目的】 「蓮花寺の大スギ」は、地元集落だけでなく三島地域や長岡市の宝物である。近年、大杉は環境変化や風雪等により、枝折れや根腐りなどが目立ってきているため、健在な今のうちに、子孫の保存・育成に取り組む。 また、集落内に大杉や大杉公園の案内看板が少ないため、近くに来ているにも関わらず迷われる方が多いことから、大杉のイメージにあった案内看板を大学等の協力を得て整備する。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 樹木医による樹木状況の調査 2. 調査結果報告（講演会）の開催 3. 調査結果に基づく保全・保護活動の実施 4. 二世の育成（採穂、さし穂処理、挿し木、圃場での育成など） 5. 専門機関等（独立行政法人森林総合研究所など）での保存育成事業へ申請。（林木ジーンバンク事業、林木遺伝子銀行110番 など） 6 案内看板の設置：2か所（デザイン等については、造形大学等の協力を得られた場合は、学生と地元でWSを開催しながら作成したい。）
事業実施 までの スケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>4月 事業計画関係者打ち合わせ 専門機関への保存育成事業の申請 第1回案内看板作成WS（造形大学+地元：現地調査）</p> <p>5月 採穂、挿し付け作業、大杉下枝等の清掃 樹木医診断 第2回案内看板作成WS（デザイン検討）</p> <p>6月～8月 第3回～第5回案内看板作成WS（看板作成作業）</p> <p>5月～H27.3月 仮植え、圃場での育成</p> <p>10月～12月 調査報告会（講演会）の開催</p>
実施主体	蓮花寺町内会
備考	<p>※2年目以降の樹木育成については、大杉公園の指定管理者である「グリーン産業」の協力をいただき、蓮花寺町内会が主体となって取り組む。なお、苗木が大きくなった場合の植栽地については、樹木医や支所と協議し決定する予定。 ※新潟県指定史跡（名勝・天然記念物）現状変更等許可申請が必要。（事前協議済）</p> <p>【添付書類】大杉二世「採穂・挿し木関係」作業平面図、工程表、施工フロー</p>

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日（金） 必着



2. 収支予算書

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	内 訳
ふるさと創生基金	518,000	
自己資金・特定財源等		
合 計	518,000	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	内 訳
報償費	100,000	樹木医謝金 @50,000円×2回 (調査、講演会)
旅費	8,000	樹木医旅費 @4,000円×2往復 (JR+バス)
需用費	60,000	育苗資材費(プランター、培養土、肥料など) 40,000円 作業記録写真パネル作成消耗品 10,000円 印刷製本費(講演会資料、チラシ) 10,000円
借上料	60,000	採穂作業：高所作業車レンタル料 (車両代、補償料、基本管理料、作業員代)
委託料	50,000	樹木栽培管理委託料 (さし穂前処理、挿し付け管理、仮植等)
看板作成費	240,000	大杉・大杉公園案内看板・設置費 ・造形大学協力謝礼 =100,000円 ・看板作成材料費等 70,000円×2枚 =140,000円
合 計	518,000	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

【参考資料】

採穂作業・育苗資材関係見積もり明細書

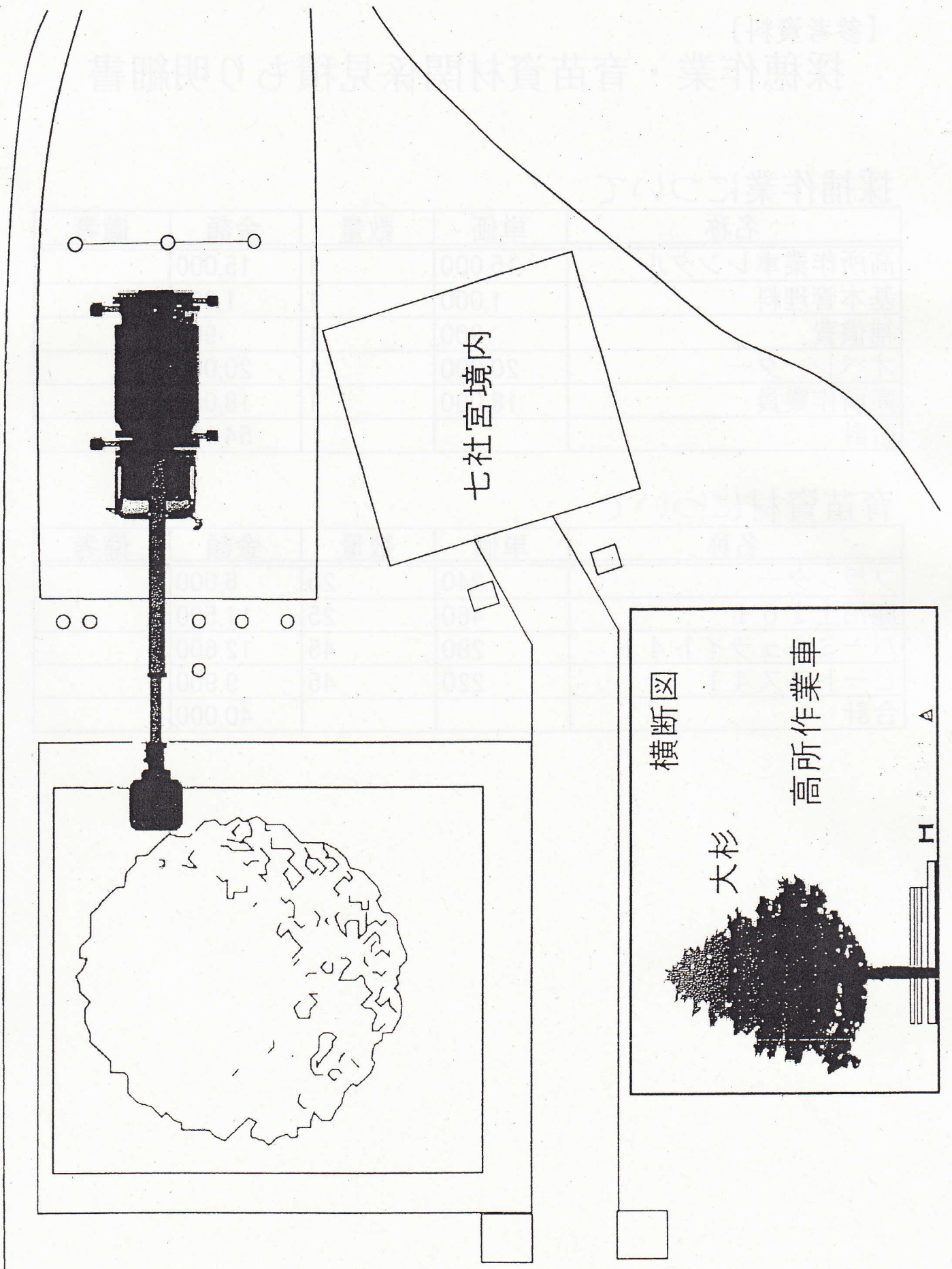
採捕作業について

名称	単価	数量	金額	備考
高所作業車レンタル	15,000	1	15,000	
基本管理料	1,000	1	1,000	
補償費	900	1	900	
オペレーター	20,000	1	20,000	
高所作業員	18,000	1	18,000	
合計			54,900	

育苗資材について

名称	単価	数量	金額	備考
プランター	240	25	6,000	
鹿沼土 16 l	460	25	11,500	
バーミキュライト 4 l	280	45	12,600	
ピートモス 4 l	220	45	9,900	
合計			40,000	

蓮花寺の大杉 採穂作業図



蓮華寺の大杉 さし木施工フロー

1 さし穂の採取

- ・3月下旬～4月に、さし穂を採取する(約20～30cm)。枝を切った後は速やかに水につける。

2 さし穂の前処理

- ・採取したさし穂を頂芽から15cmの長さに切りそろえる。
- ・約半分の長さまで葉を切り落とす。
- ・よく切れる小刀等で、切り口を切り戻す。
(1度斜めに切り、反対側から返しを付ける)
- ・規定の濃度に希釈した発根促進剤に切り口を一晩漬けておく。

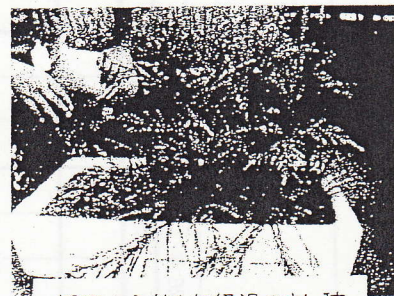
※さし穂は乾燥させないように十分注意し、常に切り口は水分を保つようにする。



先端から約20～30cmで採取

3 挿し付け床の調整

- ・鹿沼土:パーミキュライト:ピートモス=1:1:1にて混ぜ合わせ、用土をつくる。
- ・プランターや発泡スチロールの容器に用土を充填し、たっぷりと灌水をおこなう。



採取から約1年経過のさし穂

4 挿し付け作業

- ・さし付け床を十分に灌水する。
- ・挿す深さより若干浅めに、割り箸等の棒で挿し付け床に穴をあけ、穂の半分の深さまで挿し付ける。
- ・挿し穂の根元を指で押さえ、挿し穂を固定する。
- ・水をたっぷりかける。

※挿し穂を折らないよう、切り口を傷つけないように十分注意する。また、切り口と用土が密着するようにする。

5 挿し付け後の管理

- ・灌水 乾燥させないように定期的に灌水を行う。
 - ・寒冷紗かけ 乾燥や風による挿し穂のぐらつきを防ぐため、必要に応じて寒冷紗かけをおこなう。
- ※挿し付け後は、挿し木をなるべく動かさない、乾燥させないように十分注意する。

6 仮植

- ・当年の秋に、圃場に仮植し育成する。

【参考写真】



挿し付け後の育成状況



圃場での育成状況(2～3年)

蓮花寺大杉

さし木作業 計画工程表

名称	平成 26 年												備考	
	4~5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
準備工														
挿し木の採取														
挿し付け作業														
挿し付け後の養生														
仮 植														
圃場での育成														

名称	平成 26 年					平成 27 年					平成 28 年					平成 29 年					備考								
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
挿し木の採取																													
挿し付け作業・養生																													
仮 植・圃場での育成																													約3年程度
本植え部土壌改良																													
本植え・養生																													苗木の状況で 本植え時期は判断

平成26年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

＜提案者＞所属 三島地区社会福祉協議会 氏名 会長 片桐 護

1. 事業計画書

事業名	ボランティア交流会
事業目的	<p>【目的】</p> <p>三島地域においては、超高齢社会を迎えて、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が年々増加し、地域における様々なボランティア活動に対する期待が高まっていることから、三島地域のボランティア関係者の横の連携をより強固なものとし、ボランティア同士の交流・親睦を図り、ボランティアマインドの向上に資する。併せて、一般の方に参加を呼び掛け、新規のボランティア募集につなげたいもの。</p>
事業内容	<p>【内容】</p> <p>第1部では、平成15年から新潟市で、空き家を活用した「常設型地域茶の間うちの実家」を開設し、異業種交流「地域茶の間ネットワーク」、「ご近所談義」など、多様な住民参加型の助け合いや、異業種ネットワークの活動を続けておられる、河田瑠子氏から講演をいただき、第2部では、講師と三島地区社会福祉協議会推進委員会の各部会（配食サービス・ボランティア銀行・地域茶の間・小地域ネットワーク・福祉送迎）の代表者等から登壇いただき、三島地域におけるボランティア活動の現状と課題について、シンポジウム形式で話し合い、講師自身の体験をもとにアドバイスをいただくとともに、超高齢社会におけるボランティア活動に関するヒントをいただく。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>① 12月12日（木）に河田氏と事業内容の概要を話し、日程（11月頃）を決定する。 ② 3月の地区社協推進委員会に諮り了承を得る。 ③ 4月から毎月1回程度、関係者で準備する事やシンポジウムの内容を検討する。 ④ 8月頃からチラシ・ポスター等で参加者を募集する。 ⑤ 1か月前までにメールまたはfax等で河田氏と内容の摺合せを行う。 ⑥ 1週間前までにボランティアの代表者と内容の摺合せを行う。</p>
実施主体	三島地区社会福祉協議会
備考	<p>① 三島地域の高齢化の現状と三島地域のボランティア活動の状況 …別紙資料1のとおり</p> <p>② 超高齢社会：高齢化率21%を超えた社会（世界保健機構の定義）</p>

提出締切 平成25年11月29日（金） 必履



2. 収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
自己資金・特定財源等		
合 計	0	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
講師謝金(交通費込)	20,000	新潟・長岡間往復の新幹線代 2,920円×2=5,840円 長岡駅から三島支所間往復のタクシー代 3,750円×2=7,500円 講師謝礼 11,660円
看板作成料	15,000	「三島地域ボランティア交流会」(会場内・会場外)
三島地内送迎バス	42,000	中型38人乗り
記録用写真	3,600	2L版 180円×20枚
印刷製本費	9,500	トナー代7,500円 コピー用紙2,000円
通信・運搬費	10,800	切手代 90円×120人=10,800円
合 計	100,900	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

1 三島地域の高齢化率(各年度4月1日現在)

項目/年度	21	22	23	24	25
①総人口(人)	7,381	7,309	7,268	7,200	7,190
②65歳以上(人)	1,891	1,880	1,864	1,883	1,956
③高齢化率(%)	25.6	25.7	25.6	26.2	27.2

2 単身(一人暮らし)高齢者数

性別/年齢	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上	計
男	14	12	2	8	6	2	44
女	16	17	26	32	13	6	110
計	30	29	28	40	19	8	154

3 高齢者のみの世帯(2人以上)の高齢者数(181世帯)

性別/年齢	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上	計
男	27	54	52	23	12	6	174
女	65	51	36	20	10	12	194
計	92	105	88	43	22	18	368

4 高齢者のみの世帯数 : 335世帯

5 長岡市ふれあいのまちづくり事業実施状況

地区名	在宅福祉サービス事業 (ボランティア銀行)			ふれあい食事サービス事業			小地域ネットワーク づくり事業(見守り)			福祉送迎サービス			ふれあいい きいきサロン 実施 箇所
	利用 会員	ボラン ティア	サービス 時間数	実施 回数	利用 者数	ボラン ティア	対象 世帯数	ボラン ティア	利用 会員	運転 会員	延走行 距離		
三島	7	28	69	月3	35	92	28	56	-	-	-	-	15
全地域合計	1,066	1,388	134,816	月1~週2	1,561	2,123	841	822	272	145	2,982	-	258

(平成25年7月末日現在)

※ふれあい食事サービス事業の利用者数は1回あたりの平均数である。

※ふれあいいきいきサロンはH25.4.1現在の実施状況である。

※ふれあいいきいきサロンの三島地域の昨年度年間実施結果(総数)は、参加者240人、ボランティア131人、回数181回である。

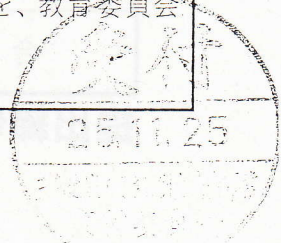
平成26年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

<提案者>所属 脇野町小学校 氏名 星野 和人

1. 事業計画書

事業名	陸前高田に花火（白菊）と笑顔届けようプロジェクト（ボランティア活動）	
事業目的 事業内容	<p>【目的】</p> <p>○東日本大震災で被災した陸前高田市の人々に花火と笑顔を届ける活動を通して、中越大震災等で多くの方から支援していただいた恩返しをするとともに、陸前高田市との友好関係を深める。</p>	
	<p>【内容】</p> <p>○陸前高田市広田町での花火（白菊、金冠柳等）の打ち上げ</p> <p>○仮設住宅等への訪問活動</p> <p>○陸前高田市でのボランティア活動</p> <p>○3年継続して実施する。（H26年度～H28年度）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○三島中、日吉小、脇野町小、地域の大人のボランティア参加希望者を募り、派遣メンバーを構成する。</p> <p>○3校で募金活動を展開する。学校、三島まつり、アオーレ長岡等でのイベント</p> </div>	
事業実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>○3校の秋休みを活用して実施する。10月上旬か中旬。</p> <p>○2泊3日で実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○ボランティア募集 6月</p> <p>○ボランティア参加者決定 7月</p> <p>○宿泊先の手配(志津川自然の家) 7月</p> <p>○参加者の顔合わせ 7月頃 (目的や趣旨の説明、支援のアイテム出し等)</p> <p>○支援物資の作成 7～9月</p> <p>○陸前高田訪問 10月</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○募金活動開始(各校) 7月 ・三島まつり ・アオーレ長岡等</p> <p>○嘉瀬さん(花火師)への依頼 7月</p> </div> </div>	
実施主体	○三島地域校長会（協力機関：三島中、日吉小、脇野町小）	
備考	<p>○宮城県志津川自然の家の予約を早めに行う。</p> <p>○陸前高田市まで長岡から約8時間。志津川自然の家まで約6時間かかる。</p> <p>○嘉瀬さんへ花火打ち上げの依頼</p> <p>○陸前高田市(広田小学校)から三島地域に来てもらう事業(夢企画)を、教育委員会からH26年度予算要求してもらっています。(担当：学校教育課)</p>	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日（金） 必着



2. 収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
ふるさと創生基金	429,000円	
自己資金・特定財源等		
合 計	429,000円	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
使用料及び賃借料	356,000円	大型観光バス1台 280,000円、高速代 43,900円、乗務員宿泊2泊 17,100円、旅行保険 15,000円(45人×300円)
使用料及び賃借料	8,000円	施設使用料(大人のみ:子供は無料) 志津川自然の家 @800円×大人5人×2泊
使用料及び賃借料	11,000円	寝具レンタル代 @100円×45人×1.08=4,860円 シーツ代等クリーニング代 @130円×45人×1.08=6,318円
消耗品費	54,000円	支援物資(寄せ書き、手紙など) (大型用紙、マーカーペンほか 50,000円×1.08)
合 計	429,000円	

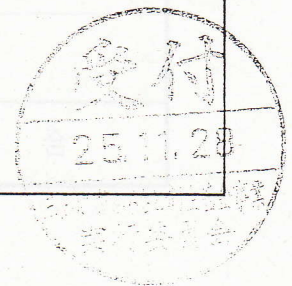
提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

平成26年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

<提案者>所属 上岩井町内会 氏名 小林 喜一

1. 事業計画書

事業名	盆踊りでつなぐ、ふるさとコミュニティ育成事業
事業目的 事業内容	<p>【目的】 地域をあげて開催される三島まつり前夜祭の風物詩である「盆踊り大会」は、地域内住民や帰省者、地域外来場者等とのコミュニケーションを図るための重要な機会である。</p> <p>三島まつり実行委員会からの要請で「櫓」の貸し出しと運営を行っており、今後もふるさと三島への郷土愛や地域の団結力を高めるため、全面的に協力していきたい。</p> <p>盆踊り大会で必要不可欠なツールである「櫓」は、過去、雨の中での三島まつりで使用したことで、歪み等の傷みが激しく使用に危険になったため、修復資材の助成をお願いするもの。</p>
	<p>【内容】※別紙参照</p> <p>平成20年からは三島まつり、前夜祭の盆踊り大会でまつり広場の中心に「やぐら」は据えられて、笛・太鼓・音頭の拠点として活躍しています。この可動式の「やぐら」の特徴は全て木製で釘・ネジを1本も使わずに組立てられるもので、近隣では外にないものと思っております。</p> <p>このような事から老朽化してはおりますが、「やぐら」の維持保存に取組みながら、伝統文化の継承に地域全体で取組み、三島まつりを盛り上げていくとここで三島地域の郷土愛や団結を図るため計画するものです。</p> <p>修復に必要な原材料費(資材)の助成をお願いするもので、修復作業に関する経費は実施団体に負担します。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】 平成26年度</p> <p>4月 材料調達(特に十分な乾燥材が必要)</p> <p>5月 加工製作</p> <p>6月 既存部分との整合・調整</p> <p>7月 組み立て、完成・・・格納</p> <p>8月 三島まつり盆踊り大会、その他盆踊りでの活用</p> <p>～9月</p>
実施主体	上岩井町内会
備考	



2. 収支予算書

収入の部

(単位:円)

項 目		予算額	内 訳
ふるさと創生基金		132,000	
自己資金・特定財源等	繰入金	99,112	上岩井町内会、みしま盆踊り連絡会議 上岩井盆踊りやぐら保存会、上岩井歌謡愛好会
合 計		231,112	

支出の部

(単位:円)

項 目		予算額	内 訳														
原材料費		132,000	<table border="0"> <tr> <td>櫓修復資材一式</td> <td>132,192円</td> </tr> <tr> <td>やぐら土台 杉 49,000円</td> <td>5000*150*170 2本</td> </tr> <tr> <td>手摺下部 杉 29,000円</td> <td>3000*130*90 4本</td> </tr> <tr> <td>手摺笠木 杉 28,000円</td> <td>3000*105*106 4本</td> </tr> <tr> <td>大引き 杉 12,000円</td> <td>2000*75*75 4本</td> </tr> <tr> <td>根太 杉 2,000円</td> <td>2000*45*45 2本</td> </tr> <tr> <td>根太 杉 2,400円</td> <td>2000*105*45 1本</td> </tr> </table>	櫓修復資材一式	132,192円	やぐら土台 杉 49,000円	5000*150*170 2本	手摺下部 杉 29,000円	3000*130*90 4本	手摺笠木 杉 28,000円	3000*105*106 4本	大引き 杉 12,000円	2000*75*75 4本	根太 杉 2,000円	2000*45*45 2本	根太 杉 2,400円	2000*105*45 1本
	櫓修復資材一式		132,192円														
	やぐら土台 杉 49,000円		5000*150*170 2本														
	手摺下部 杉 29,000円		3000*130*90 4本														
	手摺笠木 杉 28,000円		3000*105*106 4本														
	大引き 杉 12,000円		2000*75*75 4本														
	根太 杉 2,000円		2000*45*45 2本														
根太 杉 2,400円	2000*105*45 1本																
		122,400円 × 1.08 = 132,192円															
技術指導料		99,112	<table border="0"> <tr> <td>仮組調整費</td> <td>99,112円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">既存土台等との歪み調整・再加工経費については、 専門的知識を有する方から指導いただきながら共同作業</td> </tr> </table>	仮組調整費	99,112円	既存土台等との歪み調整・再加工経費については、 専門的知識を有する方から指導いただきながら共同作業											
	仮組調整費		99,112円														
	既存土台等との歪み調整・再加工経費については、 専門的知識を有する方から指導いただきながら共同作業																
合 計		231,112															

上岩井の目指す地域づくり活動スローガン

- ・地域力をアップして、安全・安心な上岩井をつくろう！
- ・上岩井のふる里づくりを楽しもう！
- ・心豊かな人の和、笑顔と挨拶を広めよう！

今年度も多くの人の意見を聞き、事業活動を通してより多くの人の係わり、交わりから地域住民相互の交流親睦を深め、安全・安心、心豊かな上岩井づくりを目指しています！
この取り組みを三島地域に広められるように頑張っています！！

これからも、私たちは櫓（やぐら）を安全に修復して取り組みを続けます！！

子どもたちの郷土愛を育みます！

みしま中央保育園で行われる「夕涼み会」で、子どもたちと盆踊りや和太鼓演奏で交流しています。

地域の伝統行事を守ります！

三島地域で現存する可動式櫓の中で、全て木製で釘やネジを一本も使用しないのはこの1台だけです。

地域の歴史を大切に活用します！

三島全域から構成するみしま盆踊り連絡会議のみなさまと連携し、三島まつり前夜祭を盛り上げます。

<提案者> みしま観光推進協議会 氏名 菊池 興一

1. 事業計画書

事業名	オールみしまで取り組む三島発信！プロジェクト
事業目的 事業内容	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西山連峰登山マラソンや全日本丸太早切選手権などの実行委員会がイベントを通して三島を発信しているなかで、市町村合併10年目の節目として三島の魅力をみんなで考えながら、各実行委員会が協力してふるさと三島の発信に取り組むことで市民協働力をさらに高める。 ・年間を通しての交流や発信意識を育み、三島リピーター確保のきっかけをつくる。
	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリジナル三島ブランドとしてのPR商品化に向けた研究や開発を行い、三島地域で開催される行事やイベントにおいて活用する。 ・長岡造形大学生やデザイン会社など交えたデザインの研究 ・三島をPRする試作品（ポケットティッシュ、手ぬぐい、表彰グッズ等）作成と各種イベントでの活用 ○四季を通じた三島地域のイベントを映像化（DVD）し、教材活用やイベントを知らない人、見に来ることができない人への活用による郷土愛を育む。 ○上記で作成した発信ツールを、各実行委員会は三島地域内外や首都圏等との交流を意識しながらプロモーション活動に活用する。
事業実施 までの スケジュール	<p>【年間スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月～3月 事業周知と活用策の共有 4月 デザイン作成 5月 ～10月 試作品の作成とイベント活用 11月 映像素材の確認と編集 1月 映像完成目途 2月 完成試写会と活用研究
実施主体	みしま観光推進協議会
備考	別紙資料参照



2. 収支予算書

収入の部

(単位：円)

項 目		予算額	内 訳
ふるさと創生基金		840,000	
自己資金・特定財源等	繰入金	232,400	みしま観光推進協議会
合 計		1,072,400	

支出の部

(単位：円)

項 目		予算額	内 訳
委託料	840,000	デザイン化に向けた調整とデザイン一式 300,000 撮影技術料、機材使用料等一式 540,000	
需用費	232,400	試作品作成経費 232,400 例 ポケットティッシュ @10×5,000 個=5,000 円 手ぬぐい @500×300 枚=150,000 円 DVD 作成経費 @1,080 円×30 枚=32,400 円	
合 計	1,072,400		

「オールみしまで取り組む三島発信！プロジェクト」の展開

各イベント実行委員会が協力して三島の発信に取り組みないか……

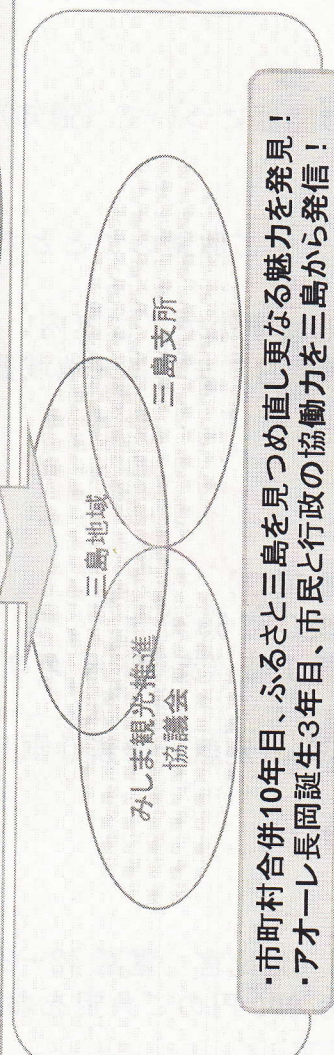
三島ライトアップ
実行委員会

三島まつり
実行委員会

西山連峰
登山マラソン実行
委員会

みしま産業
まつり実行
委員会

全日本丸太早切
選手権
実行委員会
etc

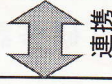


- ・市町村合併10年目、ふるさと三島を見つめ直し更なる魅力を発見！
- ・アオーレ長岡誕生3年目、市民と行政の協働力を三島から発信！

具体的な活動の展開【3つの柱】

オリジナル三島ブランドの創出

- 「商品化に向けた研究開発」
- ・各種イベントでの販売を目指すグッズの研究開発
 - 外部から見た三島地域とは？
 - 長岡造形大学生からのデザイン参加
 - 手ぬぐい、シール、缶バッジ、表彰グッズetc



連携

郷土愛を育むツール作成

- 「四季を通じた三島地域を映像化」
- ・三島の今を知恵を出し合いまとめ園児や小中学生への教材活用
 - イベント参加への憧れ、郷土愛を醸成。
 - ・イベントを知らない人、見ることが出来ない人への活用
 - 各大学総会、生き生き教室、老人クラブ総会、小中学校での交流事業 etc



連携

首都圏等との交流に活用

- 「プロモーション」
- ・各種イベント相互での参加
 - 三島地域内外のイベントでの相互交流を行い、三島地域のPRを行う。
 - ・首都圏みしま会等、他団体との合同イベントへのきっかけづくり
 - 体験ツアー企画、ホテルフェスティバル
 - えちご長岡・佐渡広域観光フェア etc



年間を通しての交流意識

三島一体となった取組み

リピーター確保のきっかけ

誇りに満ちたふるさとをみんなが発信しよう！！

<提案者>所属 日吉小学校 氏名 阿部節子

1. 事業計画書

事業名	のびのび みしまっ子育成事業
事業目的	【目的】 ○ 子どもは地域の宝である。脇野町小学校と日吉小学校の子どもたちの交流活動を促進することにより、互いに高め合い、互いに思いやる子どもを育成する。
	【内容】 1 豊かな心を育む交流体験活動 2 校の交流を主たる目的とする活動に資する。 原材料費 講師料 交通費 等 日吉 5万 脇野町 15万 計 20万円
事業内容	2 新潟の四季を生かした体力づくり活動 夏季スイミング教室における講師代 2万円×2 冬季アルペンスキー教室における講師代 日吉4万円 脇野町8万円 計 16万円
事業実施までのスケジュール	【スケジュール】 5月 年間の交流体験活動計画立案 6月～ 2月 計画に基づく交流体験活動開始 3月 交流体験活動の成果発表 7月 水泳指導実施 2月 スキー指導実施
実施主体	脇野町小学校 日吉小学校
備考	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着



2. 収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
交流体験活動費	360,000	
自己資金・特定財源等		
合 計	360,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
交通費	200,000	スキー教室 日吉 5万 脇野町15万
スキー講師	120,000	スキー教室インストラクター 日吉4万 脇野町8万
水泳講師	40,000	水泳指導講師 各校2万
合 計	360,000	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

平成26年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

<提案者>所属 みしま西山連峰登山マラソン大会実行委員会 氏名 柳 富美男

1. 事業計画書

事業名	みしま西山連峰登山マラソン 第30回記念大会 選手おもてなし企画
事業目的 事業内容	【目的】 みしま西山連峰登山マラソン30回記念大会の開催にあたり、選手をおもてなしするための企画を用意し、選手におもてなしの心を届けます。
	【内容】 1 マッサージ・サービスコーナーの設置 走り終えた選手を対象に、マッサージのサービスを提供するためのコーナーを設けます。 2 選手休憩スペースの拡充 走り終えた選手が飲食するための休憩スペースを確保するため、テント等機材を一括して借り上げます。 3 記念大会限定企画 (1) 記念大会オリジナル賞品及び副賞の購入 (2) 記念大会PRのための幟旗や看板の購入 (3) 記念大会コース清掃協力ボランティア確保のための資材購入
事業実施 までの スケジュール	【スケジュール】 1月～4月 マッサージ・サービスコーナー設営協力機関への要請 休憩コーナーテント等設置借上げのための発注 記念大会限定企画物品の発注 4月中旬頃 大会幟旗・PR看板等設置 5月16日(金) 大会屋内外準備設営、講演会パネル展示設営、 18日(日) 大会当日 マッサージ・サービス特設コーナー等開設
実施主体	みしま西山連峰登山マラソン大会実行委員会
備考	

提出締切 平成25年11月29日(金) 必着



2. 収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
ふるさと創生基金	570,000	
自己資金 特定財源等		
合 計	570,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
需用費	450,000	記念大会オリジナル賞品等 200,000円 記念大会PR幟旗及び看板 150,000円 記念大会コース清掃作業資材 100,000円
使用料及び賃借料	100,000	選手休憩コーナーテント等機材設置借上げ料 100,000円
報償費	20,000	マッサージ・サービスコーナー運営謝礼 20,000円
合 計	570,000	

提出締切 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着